

# 潮 騒

第 33 号  
平成24年  
1月 1日

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会  
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目五  
海事センタービル  
電話 〇三・三三三・四〇六六二  
FAX 〇三・三三三・四〇六八二

## 新年を迎え 幸多からんことを願います

公益財団法人日本殉職船員顕彰会

会長 前川 弘 幸

新年を迎え、会員ならびに関係者の皆様には、心新たに年初のスタートを切られたことと存じます。この一年が皆様にとりまして、幸多からんことを願わずにいられません。

昨年は、三陸沿岸に壊滅的被害をもたらした東日本大震災に加え、将来を計りかねる原発事故が勃発し、災害復旧に加え、事故処理問題は今なお国民生活に暗い影を落としています。

殉職船員遺族援護事業の受給者の中にも、地震と津波の被害に遭われた方がおられて心痛を極めました。幸い犠牲者はなく、互いに支え合って生活しているとお便りをいただきました。

今後は、政府・自治体と電力事業者の対応を加速し、一日も早い被災地の地域復興と平和な家庭生活を取り戻すことが求められており、私たちもそれぞれの立場から息の長い支援で寄り添う必要があると考えます。



### 主な記事

- 【257面】第37回戦時徴用船遭難の記録画展（大阪）
- 【8面】横須賀海洋少年団「海の日」清掃と献花式
- 【9面】寄付金の税制優遇
- 【10面】戦没・殉職船員功績調査の事例
- 【11面】「殉職船員遺族援護事業」受給者のお便り紹介



国外に目を転じても残念ながら明るい材料は見当たりにません。ギリシヤ財政危機が引き金となった金融不安による欧州の景気後退、米国の景気減速と中国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより、世界経済の減速懸念が高まっています。私どもに関係の深い外航海運産業も、そうした国際情勢の下で円高・燃料高を受けて軒並み収益が悪化し、今後暫くは厳しい経営環境が続くことも覚悟せねばならぬ状況です。私たちは、こうした内外の厳しい環境にあっても足下を固め、前を見

近年、一段と暑さを増す8月15日、

昨年も横須賀市観音崎の「戦没船員の碑」の前に本会役員とOB、海事関係者など40人が参列し、終戦記

据えて前進しなければなりません。

昨年4月1日、本会は公益財団法人として再出発いたしました。戦後67年を迎えて、わが国海運・水産業界は激変しましたが、本会の目的と事業の必要性は何ら変わることなく、海洋永遠の平和を国民に広く伝えることが一層求められています。皆様から事業運営に多大なご理解をいただき、昨年の事業計画は滞りなく実施することができました。

本年も旧年にならぬご支援ご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお便り申し上げます。

念日献花式が挙行された。

式典の進行は、この日武道館で行われた全国戦没者追悼式と同時進行で執り行われ、慰霊碑に献花して黙とう、御霊に祈りを捧げるとともに海洋永遠の平和を誓った。

昨年から参列者の熱中症対策として、礼装からワイシャツ・黒ネクタイの軽装を奨励することになった。

### お知らせ

第42回戦没・殉職船員追悼式

日時 平成24年5月15日（火）

午前11時開式

会場 横須賀市観音崎公園

「戦没船員の碑」にて

第38回戦時徴用船遭難の記録画展

会期 平成24年9月8日～17日

会場 日本丸メモリアルパーク

横浜みなと博物館（特別展示室）

※この予定で準備を進めています

# 第37回 ゆかりの地大阪に1500人

第37回「戦時徴用船遭難の記録画展」を8月22日（月）から9月4日（日）までの2週間、大阪市立海洋博物館「なにわの海の時空館」で開催し、大阪市や近隣府県の市民ら1,452人が観覧した。今回は久々に故大久保一郎画伯のご遺族、圭子さん（長女83歳）が来られ、新聞・テレビの取材に応じて来場者の誘致と記録画展の盛会に貢献された。また、会期が夏休み終盤にかかり、学生や子供たちの来館が多いことから、プロジェクターを使用した「ミニ講演会・展示ツアー」を開催。戦時徴用船や記録画公開の経緯などについて、分かりやすく解説した。

戦時徴用船  
遭難の  
記録画展

大阪市立海洋博物館「なにわの海の時空館」  
企画展示室 入場無料  
8月22日(月)～9月4日(日)  
午前10時～午後5時

## 画伯の長女 圭子さん久しぶりに対面

大阪市開催は、記録画の枚数37枚と同じ37回目。また、さかのほれば奇しくも記録画が発見・修復された日も昭和57年の37回目の終戦記念日の直前だったことから、今年は「37」の数字が三つ重なった。

そして、大阪は大久保画伯誕生の地であり、船舶画家として活躍された大阪商船発祥の地でもある。いやおうにも成功裏に終えるべきプレッシャーを感じながら準備を進めた。

会場は南港の外れで、決して地の利良しとは言えず、来場者誘致が最大の課題であった。そこで市長招請のオープニングや記者クラブでのリリースを企画したが、ことごとく失敗し会期初日を迎えたのである。案の定、55人と出だしは鈍かった



NHKの取材を受ける大久保圭子さん

が、ここに救世主来場！ 大久保画伯の長女、圭子さんである。18年近く途絶えていた音信が偶然に回復し、久々に記録画との対面となった。

良いことは続く。これをきっかけに朝日新聞社の取材が入り、翌日には大阪日日新聞社が取り上げた。そうなるに欲が出てテレビが欲しい。後援名義を受けた朝日、読売、毎日、NHKの各放送局にアプローチした結果、24日にNHKのカメラが入り、圭子さんの回想と記録画を収録。翌日夕方方に5分余り放送された。

マスコミ報道は絶大である。会期2日目の23日には倍増、週末に向けてウナギ登りの勢いで、日曜日には一日230人の来場者を記録した。新聞報道では、日本海事新聞社の取材に特筆すべきものがあつた。事前の開催記事もさることながら、その後、「海ゆかば」のコーナーで「社長・岡田永太郎」と「画家・大久保一郎」を各2回連載した。掘り下げた取材は記録としての価値も大きく、読者にも一読をお勧めしたい。

1週目はマスコミ報道と天候に恵まれて、来場者は老若男女万遍なく順調に伸びた。しかし、2週目も後半になると、夏休み終了と合わせ、とんでもない災害が降りかかった。紀伊半島に大災害をもたらした台風

12号の接近である。動きが遅い上に進路は大阪湾めがけてまっしぐら。終盤の2日間で81人と落ち込み、最終日の日曜日に163人と回復したものの、期待を込めた2千人超えは次の課題となった。

## 記録画放映に期待

会期中、ドキュメンタリー番組制作で著名な鈴木昭典さんが来場し、記録画を熱心に見た後、番組の制作について相談があつた。

記録画の公開で戦争の再発防止と戦没者の顕彰を目的とする本会は、絵画と生存者の証言を軸とする番組制作に協力することにした。絵画を所蔵する(株)商船三井広報室に連絡、了解を得た9月2日、台風12号襲来で来場者が少ないことを幸いに、4時間余りかけて37枚すべてを収録した。現在は、生存者の証言などの取材を行っており、番組の完成とテレビ放映に期待を寄せている。



37枚の記録画を時間をかけて収録する鈴木さん（ドキュメンタリー工房代表）㊦とカメラマン

# 記録画から受けた感動・感想

来場者の約4割からアンケートが寄せられ、その半数が記録画から受けた感動や感想を綴っている。その数260通に上ることから、紹介を一部にとどめたい。囲み記事を除いて匿名とし、年代別に10代から順に、性別・居住地・来場の動機・感想を掲載する。

## 10代の驚き

●**男性（大阪市） 時空館に来て**  
船がばくげきされたり、ぎよらい攻撃されたりして、船がどンドンしずんでいく絵を見るのは初めてだったのでびっくりしました。

●**女性（大阪市） 友人に聞いて**  
船が沈んでいく絵は、とてもリアルです。戦争はとっても怖いと思います。私知っている船の沈没シーンは、映画のタイタニック号だけなので、こんなにたくさん船が沈んだなんて信じられません。私は絵が好きなので、じっくりと楽しみました。とてもシヨックでした。

●**男性（大阪市） 時空館に来て**  
軍隊に徴用された民間船の存在を初めて知りました。こんな悲劇は二度と繰り返してほしくありません。

## 20代の学び

●**夫婦（守口市） 友人に聞いて**  
夫「戦争」のことを知らなかった

訳ではないが、船や海に焦点を当てたことはない。船員や商船が犠牲になった数々の絵画を見て、同じ船員として何とも言えない気持ちになり、いろいろと考えさせられた。そして、当時ではなく現代を船員として働けることに改めてありがたいと思ひ、繰り返しはいいけない戦争を絵画展などを通じて若い世代に伝えていくことが重要であると思った。

## 投稿

### の念えし ち無伝べし たとにく 員躍せい 船活後て



小林義典さん（西宮市）

妻 絵画展を見るのは初めてでしたが、絵の迫力に吸い込まれそうになりました。修復されたとはいえ70年前に描かれた絵とは思えないほどきれいでした。この戦争で犠牲となった船員の多くが10代20代の若者だったと聞いています。船員の夫を持つ妻として心が痛みます。二度と戦争が起きないよう大勢の方々が感じて感ずってもらいたいと思います。

●**女性（三重県） 時空館に来て**  
戦争に関する知識の中で、徴用船の遭難についてまったく知りませんでした。父の死は「昭和18年1月20日、西南太平洋で戦死」との公報で知らされました。父は大阪商船の「スラバヤ丸」で船長をしていましたが、戦没情報は父の死後、半世紀以上も経ってから知ることができたのです。それは、平成18年に甲南大学の佐藤明雄名誉教授の講演、「慟哭の海なお深く」を拝聴する機会を得て、「戦没した船と海員の資料館」や日本殉職船員顕彰会の存在を知ったことがきっかけでした。

一昨年は、前者の設立10周年記念式典と後者の設立40周年記念追悼式典に参列しました。そして今回の遺作展を見て、尊い命が海底の藻屑と消えた事実を改めて思い、風化させ

でしたし、世間にも知られていないのではないのでしょうか。この記録画展はとても貴重なものなので続けてもらいたいと思います。

●**女性（和泉市） 時空館に来て**  
記録画からあふれる臨場感は何でしょうか。写真では見ることができない悲慘さがひしひしと伝わってきますが、実際にはもっと、想像を絶するような地獄絵図だったのでないかと思いました。時空館を観に来て、こうした絵に出会えたことを幸せと思わなければいけませんね。

ないために、私自身も語り継いでいかねばならないとの思いを強くしました。

軍需・民需双方の物資輸送に欠かされた戦時徴用船。その働きがなければ日本軍は戦うことができなかったはず。そして、船員たちの活躍が世間に知らされないままにあることの無念さは、計り知れないものがあります。

顕彰会は、今後も追悼式典や記録画展の開催と国民への広報を通じて、戦時徴用船の活躍と無防備ゆえに無残な結末を強いられた戦没船員の実相を顕彰するため、積極的な事業推進を切望いたします。

最後に、御霊のご冥福と安らかに鎮まれんことを祈念すると共に、遺族の平安と世界の平和を心よりお祈り申し上げます。



岡田淳 (すなお) さんと辻彩花さん

■学生 大学から研修で博物館へ  
辻(和泉市)万歳しながら亡くなった人の絵がとても印象的でした。なぜこれほど大勢の人が死ななければならなかったのか、苦々しく思いますが、見られて良かったです。知ることから始まる方がいいと思いますから。  
岡田(尼崎市)こんな絵が残されていたことを初めて知りました。すべての商船が徴用され、6万人余の船員が亡くなったことに驚きました。敵の米兵を救助している絵が印象的でした。37枚が残って良かったと思います。

■男性(八尾市)友人に聞いて  
遭難時の状況は、まるで現場にいるようなインパクトがありました。雷撃や空爆の衝撃、撃沈される船の様子は、恐怖すら感じるほどです。

■男性(西宮市)リーフレットで  
戦争を知らない私は、話を聞くだけではなく絵を見ることにより、大きな感銘を受けました。攻撃されている最中に日の丸を掲げている絵がありました。教育の恐ろしさも痛感しました。ぜひ多く人の目に触れる機会を増やしてほしいものです。

■男性(大阪市)時空館に来て  
話を聞いて、描かれた絵としてはとてもリアルだが、タイトルや描かれた経緯から、日本人の英雄的行動を賛美する絵が多いように感じた。救命ボートの席を譲り、海に飛び込む乗組員のような行動が、緊急時に際して取ることができる人間になりたいと思う。

◆女性(奈良市)NHKテレビで  
両親から戦争の話をよく聞いたほか写真などで知ることはあっても、記録画は初めてでした。すべての絵に人の生き様が描かれているという印象を受けました。人も船も最後まで精一杯生きようとすると情景が見る者に深い感動を呼び覚まします。このような絵は他にはないと思いますので、可能な限り保存して、記録画に込められた思いをつなげてほしいと思います。

30代の印象  
60代後期以上は戦中戦前の生まれで、戦争との関わりが深く影響している。特に70代以上の人は、当時10〜20歳の多感な時期であり、戦争の悲惨な記憶が反映しており、男性にその傾向が強いようだ。

■男性(大阪市)新聞記事で  
私は船員なので、船が沈む絵はあまり気持ちの良いものではありません。しかし、絵からはその時必死で船を守ろうとした乗組員の気持が伝わってきます。心ならずも海の藻屑となった先輩方に恥じぬ船員になろうと思いました。

(表1) 回答者数 (人)

|     | 男   | 女   | 計   |
|-----|-----|-----|-----|
| 10代 | 24  | 32  | 56  |
| 20代 | 20  | 20  | 40  |
| 30代 | 30  | 34  | 64  |
| 40代 | 44  | 27  | 71  |
| 50代 | 42  | 18  | 60  |
| 60代 | 62  | 22  | 84  |
| 70代 | 92  | 25  | 117 |
| 80代 | 29  | 7   | 36  |
|     | 343 | 185 | 528 |

▼会場中に来場者から寄せられたアンケートは528通(表1)で、回答率は36%。回答で最も多かったのは70代で、次に60代が続く。男女別では、男性が女性の2倍。40代以上では約4倍と圧倒するが、30代以下では逆転している。  
60代後期以上は戦中戦前の生まれで、戦争との関わりが深く影響している。特に70代以上の人は、当時10〜20歳の多感な時期であり、戦争の悲惨な記憶が反映しており、男性にその傾向が強いようだ。

▼来場の動機(表2)は「その他」が最多だった。この中には「時空館(会場)に来て知った」「案内状が送られてきた」など複数含まれるが、「会場に来て知った」が飛びぬけて多い。次いで「テレビで知った」が続く。前ページの記事のとおり新聞・テレビの報道効果は大きい。会期

(表3) 印象の5段階評価(点)

|     |      |
|-----|------|
| 10代 | 4.23 |
| 20代 | 4.15 |
| 30代 | 3.96 |
| 40代 | 4.09 |
| 50代 | 4.11 |
| 60代 | 4.30 |
| 70代 | 4.47 |
| 80代 | 4.61 |
| 平均  | 4.25 |

(表2) 来場の動機(人)

|         |     |
|---------|-----|
| その他     | 219 |
| 新聞      | 67  |
| テレビ     | 86  |
| 友人・家族等  | 80  |
| ホームページ等 | 39  |
| リーフレット  | 37  |
| 計       | 528 |

初日(月曜日)の55人から週末の日曜日の230人へ、ウナギ登りの来場者数の変化が如実に示している。  
▼印象5段階調査(表3)では、①とても良かった5点、②よかった4点、③ふつう3点、④わるかった2点、⑤とてもわるかった1点で、年代別平均点数を表示した。  
①②の評価は、80代以上・70代・60代の順で高かった。一方、30代③が多く、10代よりも評価は低く、関心の薄さを示す結果となった。10代では、初めて見る戦争の衝撃的な絵にショックを受けた率直な印象が示されている。

アンケートに見る来場者の傾向



笠原さん(中央)は、娘と孫を連れて来場

### 思いは一つ 戦争あるまじき

笠原多賀子さん(羽曳野市) 9年前の神戸展で初めて見て大変感動しました。今回は娘と孫を連れて来ましたが、孫には少し難しかったようです。思いは一つ、戦争あるまじきです。平和な世界を望みます。忘れかけていた戦争の悲惨さを改めて思い直しました。  
中島園子さん(大和郡山) 父が戦没船員の母に誘われて2回目です。戦時徴用船の壮絶な最期を目の当たりにして、改めて戦没船員の無念さに思いを馳せました。祖父はレイテ沖の戦没者です。6歳と3歳の娘には、まだ意味が分からないと思いますが、教えるきっかけにしたいと思います。戦争を知らない世代にも見てもらうため、記録画展の開催を続けることは大きな意義があると思います。

◆夫婦(大阪市) リーフレットで夫「ぶらじる丸」の2枚の絵が印象的でした。攻撃されてわずか4分で沈んだ説明に、逃げる間もなかった状況を想像すると体が震えます。戦争を知らない世代には、こうした絵の存在は大変貴重であり、展覧会の継続を希望します。

妻 表には出ない戦争の歴史を目の当たりにして、いろいろと考え、語られない犠牲がたくさんあったのだと感じました。平和な世の中を未来へつなぐため、子供たちに伝えていかなければなりません。

◆男性(守口市)「潮騒」の記事で母方の祖父とその弟が戦時中に徴用船に乗り組んでいました。祖父は4回乗船し、比島から引揚げる浅間

丸が雷撃されて撃沈、生死をかけた漂流を凌ぎ切り生還しましたが、大伯父は戦死しました。空爆や雷撃の状況がこのような様相であったかと感慨無量で大変参考になりました。

◆男性(大阪市) 日本海軍新聞で戦争を知らない世代として、平和である今こそ知る、伝える必要があると思います。見て見ぬふりする人がいる中で、過去と正面から向き合う大切さを改めて感じました。

◆女性(大阪市) 朝日新聞で赤十字が描かれた船も沈められたことを知りショックでした。こうした絵を描くことは辛かったでしょうが、記録画でしか知ることができないのです。大切に保存され、公開の機会を重ねてほしいと思います。

### 娘と一緒に父偲ぶ

秋山眞子さん(大阪市)



父が白陽丸で戦死しましたので、絵を見るたびに新たな悲しみに涙が流れます。冷たい海の藻屑となった船員たちの苦しみや思いを後世に伝えては、何十年が過ぎようとも、思い出がよみがえる度に昨日のこのように涙があふれます。心が悲しみで一杯に満たされあふれて、新たな誓いを立てることができる、大切なことなのです。遺族がいる限りこうした機会を続けてほしいと思います。

句で崇め、犠牲者の上に今の生活があると聞かされてきた。しかし、実際には無能な軍や政治家の誤算によって大きな犠牲を強いられた。記録画は、その実相を如実に示した秀作で大きな感銘を受けた。ひび割れが進む絵画も数点あった。これ以上悪くならないよう管理をお願いしたい。

### 40代の感想

#### ●女性(大阪市) その他

祖父は南方で戦死したと聞きましたが、祖母は未だに信じようとしません。会ったことのない祖父は、急な召集で若妻と幼子たちを残し、どんな思いで死んでいったのか、南方のことを見聞きするといつも見入ってしまう胸が詰まります。どんな死に方だったのか分かりませんので、記録画の一つ一つを追いつながら思いを馳せ、胸を熱くしました。

#### ●女性(大阪府) 友人に聞いて

写真で見える軍艦や徴用船からは船員の生き様が感じられないが、記録画からは吐息さえ感じられる。犠牲となった一般人や兵士たちを美辞麗

#### ●男性(大阪府) WEBサイト

戦争の記憶が消えゆく中で、記録画展の存在は貴重です。子供へ無理に戦争を伝えることは好みませんが、絵画などで自然に戦争を考えさせられればベストだと思います。今後とも全国各地での開催を期待します。

#### ●男性(姫路市) その他

絵画への描写があまりにも凄まじく目を覆わんばかりでした。かねて話に聞き、想像していたものとの違いに驚きました。帝国海軍の無策ぶりや国の判断の誤りから、犠牲となった戦没船員の無念はいかばかりでありましょう。展覧会でそのことが広く知らされることを希望します。

50代の想い

■女性（大阪市）大阪日日新聞で

海洋画家の存在をはじめて知った。どの絵も涙が出るほどだった。船長の最後の姿、救命ボートで船客を優先するがために海に飛び込む船員、命を救うために命を落とすやりとりは大変悲しい。こんなすばらしい絵をよく残してくれたものだと思し、また見られることを祈りたい。

■男性（大阪市）大阪日日新聞で

戦争が引き起こす悲劇そのものである。極限状態でも助け合い、国を想う海員魂は尊いと思った。赤十字マークの船を攻撃する米軍の非人間性に憤りを覚える。海戦の真実を忠実に描き残した大久保画伯の愛国心、戦争を憎み平和を愛する心に敬意を表したい。埋もれ隠れた戦没船

員を顕彰するため、記録画展の全国展開をこれからも続けてほしい。

■男性（豊中市）朝日新聞で

記録画の存在を知らず初めて見たが、絵が訴える力に驚くばかりである。遠望から人物をクローズアップするなど構図に優れ、漂流中にサメと戦う描写は恐ろしさが伝わる。芸術性の点でも大久保氏の遺作は評価されるべきだろう。本来、商船は平和な海を往来するものだが、戦火の犠牲となったことに胸が詰まる。

60代の憤り

◆女性（八幡市）「潮騒」の記事で

5年前、姉妹3人で観音崎の追悼式に初めて参列いたしました。海の見える高台の祭場で、父を思う心がキュツとなりました。とても良い思い出になりましたので、また出席で

記録画に

父への想い重ねて



丹羽妙子さん（大阪市）

三井船舶「荒尾山丸」乗船中だった父は、昭和20年4月6日、シンガポール沖で魚雷攻撃を受けて戦没しました。この会場で父が乗っていた船の絵はありませんが、記録画を見て父の最期もこの絵の様であったのだらうと考えて感慨無量でございます。父は機関部でしたので、記録画の「蒸気が充滿した機関室で、同僚の安否を確かめる乗組員」がとりわけ印象を深めました。

丹羽さんは、天皇后陛下がご臨席された一作年の第40回戦没船員追悼式に参列、その時の記録DVDに前出の小林義典さんと共に出演された。



熱心に鑑賞する来場者、天井からのやわらかな自然光に映えて、会場の評判も良かった

70代の怒り

●男性（大阪市）友人に聞いて

ここに来て、観音崎公園に立派な戦没船員の碑があることを知りました。一度礼拝に行きたいと思いましたが、南方はるかサイパン島には、私が設計を担当した慰霊碑があつて、日本の方角に向いて建立されています。私の兄は、満州から転戦した593人の一人で、ガラパングランドホテルのビーチに慰霊碑があります。観音崎とサイパン島、太平洋をはさんで二つの慰霊碑が向き合っていることに感動します。

●女性（大阪市）NHKテレビで

絵に描いただけでもすごいと感じますし、戦争の痛ましさがにじみ出ていると思います。37枚の記録画には、いろいろな場面が描かれて戦時の子が良く分かりました。この様な戦争を二度と起こしてはいけないと痛切に感じました。

●男性（宝塚市）顕彰会HPで

臨場感ある絵画を多数拝観し、大変感動しました。昭和20年6月、三井船舶「荒尾山丸」の一等航海士だった兄、野田良一（享年21）はシャム湾沖で雷撃され戦死しました。記録画により兄が亡くなった時の様子を呼び覚まされた思いです。以前、観音崎の追悼式に参列しました。今

もなお、式典が続けられていることに厚くお礼申し上げます。

きたら良いと思っています。父の顔を知らない私ですが、父が亡くなった歳より24年も長く生きました。一昨年亡くなった母は101歳、父の分まで生きました。この歳になり、父の無念を思うと堪らなく、戦争のない世の中を願うのみです。

◆男性（大阪市）NHKテレビで  
記録画を後世に伝えることを指示した人、実行した人、語り継ぐ人、頭が下がります。戦争経験がない者としても熱いものを感じました。

◆男性（大阪府）朝日新聞で  
記録画の迫力に圧倒されました。軍人と同様、戦地へ徴用されながら民間人としての扱いしか受けず、亡くなっていった徴用船員たちの想いに心を馳せました。



十代桂子さん (大阪市)

懐かしくって

「テレビで記録画展のことが流れました。家内はもうびっくり。当時、大阪商船に勤めていて、大久保画伯に可愛がっていただいたと言っていました。」

こんな話をご主人から聞き、さっそく奥様を探して話を伺った。「もう懐かしくって、主人に『行きましょ!!』って、飛んできました。大久保画伯とは21歳の時から3年ほどご一緒しました。私の課

と画伯の課は同じ船客部。穏やかでとても優しく、休み時間にはいろいろな話を聞きました。字は違っても長女の圭子さんと同じ呼び名だったからでしょう、似顔絵を描いてくださいました。大切にしまっています。帰ったら出して飾ります。絵はどれも悲惨な場面でしたが、画伯が後世に残すために精魂こめて描いた絵を懐かしく拝見させていただきました。」

●女性 (大阪市) 友人に聞いて  
37回目となる記録画展は、戦争の悲惨さと歴史、記録を残して伝えていくことに大きな役割を担っています。そして、見る者に自分ができることを実行する勇気と努力の大切さを伝えていきます。機会を作り息子や孫たちに伝えたいと思います。

●女性 (大阪府) 新聞記事で  
写真にない絵画ならではの臨場感  
は、迫るものを感じます。命がけで描き、守られてきたことは貴重です。

●男性 (大阪市) NHKテレビで  
以前から戦時徴用船の記録画展があることを知っていて、大阪開催を知り参観させていただいた。戦時中の困難な中で、これだけの絵画をよく残されたらと、大久保画伯と船会社にお礼を申し上げたい。これからも多くの機会を作り、全国の人たちに見てもらい、民間人が斯く戦った歴史を知ってもらいたい。

記録画と生存者証言テーマにドキュメンタリー番組制作



(株)ドキュメンタリー工房の鈴木昭典さん(82歳)から記録画と生存船員の証言をテーマに番組制作の提案があった。この日、大久保画伯の孫にあたる吉田奈津子さん(写真右)とも話をし、意を強くした様子で、絵画を所蔵する(株)商船三井の了解を得て会期終盤に記録画を収録した。鈴木昭典さん(富田林市)

私は昭和史に関係するテレビドキュメンタリーの作家です。戦時徴用船のことは知っていましたが、不勉強で大久保画伯を知りませんでした。いろいろな意味で感動を受けた

80代以上の嘆き

●女性 (吹田市) 顕彰会の案内で  
父は大阪商船の機関長で「ぶえのすあいれす丸」建造に携わり愛着を保持していましたが、昭和18年にマニラ支店勤務となり山中で戦病死しました。亡くなる朝、「46歳を最後に山中で果てるのか」と言ったそうです。今日は、父の写真を持ってきました。ブエノスヤラレタダンチヨウノオモイアトフ

●女性 (神戸市) 顕彰会の案内状で  
大久保画伯の素晴らしい絵は、何度拝見しても胸に迫ります。昭和19年7月、父は千島列島沖で戦死し、改めて父がどんな気持ちで海に沈んだのかと考え、戦争は惨いものだと思います。今、84歳で健康であることに感謝し、父の冥福祈っています。命がけで戦地へ行った人たちがいて、現在があることを忘れません。

●男性 (大阪市) 朝日新聞で  
凄惨な絵が並んでいて心が痛みます。職責に全力を尽くされ死んでいった大勢の船員の死を思う時、あの戦争がいかに無謀なものであったかを改めて感じます。また、良く知られた優秀船の最後の姿が無念です。

記録画と生存者の証言をテーマに番組を作ろうと思います。この絵はこれまでメディアが取り上げていません。戦後65年経ちますが、民間戦死者の存在を後世に残さないといけないと思います。

吉田奈津子さん(豊中市)  
今日は祖父に会えたような気がしました。発見・公開された昭和57年から毎年のように展覧会が開かれ、全国の皆様に見ていただいていることを、祖父は天国で喜んでいいます。改めて戦没・殉職船員のご冥福をお祈りいたします。



慰霊碑清掃と献花式の後、お昼を済ませて解散セレモニーを前に全員で記念撮影。

## 観音崎公園 戦没船員の碑

# 海の日清掃・献花式 横須賀海洋少年団

「海の日」行事として横須賀海洋少年団恒例の戦没船員の碑清掃と献花式が昨年7月18日に行われた。午前11時、観音崎公園にある戦没船員の碑に集まったのは、小学1年生から中学1年生までの団員15人と保護者、指導者など合わせて約30人。これに本会役職員が加わって1時間余り清掃した後、全員で献花した▼横須賀海洋少年団は、横須賀土木事務所や海上自衛隊横須賀総監部と共に第1回追悼式開催（昭和46年5月）から支援・協力をいただいている▼お弁当の時間に、この日参加した最年長の団員、小倉悠輔くんなど4人に話を聞いた。

### 小倉悠輔くん（中1）

僕は小学3年生から少年団に入っている。同じマンションの同級生、赤羽くんが入っていて、楽しそうなので入団しました。少年団にはいろ



小倉悠輔くん

いろな行事があつてとても楽しい。ヨットやカヌー、カッターなど、海上訓練が一番おもしろい。また、他の少年団と交流する神奈川や関東地区大会、全国大会もあつて、今年は鹿児島で全国大会が開かれる。大会ではロープ結びや手旗信号などの技能を競うのが楽しい。

### 赤羽真輔くん（中1）

僕は小学校1年生の時から入団している。「海の日」の慰霊碑掃除は毎年来ていくけど暑くて大変。でも、この後、港で海上訓練があるので楽しみだ。ヨットかカヌーになるか、



加藤翔太くん

加藤翔太くん（小5）少年団は小学3年生から続けている。ここの好きなおところは、いろいろな場所に行けることだ。毎回、次はどこかと楽しみにしている。今日の慰霊碑掃除は暑くて大変だった。でもこの後、ヨットか、カヌーか、

海洋少年団には、小学3年生から入団していて、準指導員をさせてい



水澤由貴さん

水澤由貴さん（大学生）まだ分からないけど、僕はこの訓練が一番楽しくて、大好きだ。



赤羽真輔くん

ただいています。少年団はさまざまな人たちと交流ができて楽しく、勉強にもなるので続けています。

私は大和団ですが、今回は横須賀団との合同訓練として、初めての参加です。大和団の通常活動は、海がないのでプールでの水泳や救助訓練、陸上訓練として手旗信号やロープ作業などを行っています。団員構成は全員が中学生以上なので、小さな団員がいることや慰霊碑の清掃と献花式も、いつもと雰囲気が変わって新鮮でした。海で亡くなった方々の御霊に初めて献花して、冥福をお祈りしました。子どもたちには、故人を尊び敬う気持ちを育んでほしいと思います。横須賀団には小学生の小さな団員がいて、指導者の立場として大変勉強になりました。

ダイビングか、どれかの海上訓練があるのでそれが楽しみだ。

今日は、入団したばかりのしっかり者で可愛い妹、麗来ちゃん（小学1年生）と一緒に参加して、兄妹仲良くお弁当を開いていた。



加藤麗来ちゃん



ご厚情に感謝いたします

### ◇寄付金（順不同）

○鈴木昭典様（富田林市）○寺澤直恭様（守口市）○中原義人様（摂津市）○安福昭三様（八幡市）○河田明久様（東京都練馬区）○高嶋周三様（姫路市）○森實様（高槻市）○北野洋三様（阪南市）○曾野豪夫様（西宮市）○坂元茂昭様（赤穂市）○福田幸子様（赤穂市）○米山恵美

子様（宝塚市）○猪又幸子様（千葉県山武郡）

### ◇協賛会員（順不同）

○鳥羽商船同窓会様（鳥羽市）○本村恵濟様（大阪市）○横山佳則様（横浜市）○左海嘉三様（池田市）○山本千工子様（吹田市）○井上廣様（吹田市）○橋本正夫様（京都市）○木下進弘様（神戸市）

平成23年7月1日以降、11月末までの間に、右記の皆様からご寄付をいただいたほか、新たに協賛会員になっていただきました。皆様のご厚情に感謝申し上げます。事業は、基

本財産の利息収入のほか、主に海運・水産等の会社や海事関係団体が加入する賛助会員と、ご遺族や篤志家の方々が加入する協賛会員の会費などによって支えられています。

## 支える心とどけ！ 日本財団 東日本大震災支援基金

東日本大震災から半年、大阪市で開催した戦時徴用船遭難の記録画展に「支援金募金箱」が置かれ、終了時に7711円が集まりました。

この「支える心」は10月14日、日本財団「東日本大震災支援基金」に振込まれ、被災地で復興支援に活躍するNPOやボランティアの活動資金として使われます。

当会は6月、日本財団が呼びかけ

る支援募金の考え方に賛同し、「募金箱」の設置を決めました。

ご存じですか。義援金は一定期間プールされた後、被災地の調整を経て平等に配分されますが、NPOやボランティアなどの支援活動には使われません。支援金はこうした人たちの活動資金として有効活用されます。募金期間は20年、息の長い活動であることにも共感できます。

## 税制優遇について

### 所得 税

- 1 当会への個人寄付金（賛助会費・協賛会費を含む）は、次のいずれかの控除の対象になります。  
**所得控除：**寄付者に特別な利益が及ぶと認められる場合を除き、寄付金は特定寄付金に該当します。その合計額から2千円を差し引いた金額が寄付者の年間所得から控除されます。  
**税額控除：**寄付金は、通常の所得税額から税額控除分〔（寄付金額-2,000円）×40%〕を差し引いた金額が最終的な納税額となります。所得税額の25%が上限額です。
- 2 いずれの控除も対象となる寄付金額は、総所得金額等の40%が限度で、税務署での確定申告が必要です。勤務先などの年末調整では控除できません。また、控除される額がどちらが多いかについては、個人の総所得額によって変わります。詳しくは税務署でお尋ねください。控除申告の際は、当会発行の領収証、税額控除証明書（税額控除の場合に使用）、公益認定書の写しを添付してください。

### 個人住民税

- 1 各都道府県・市区町村が条例で指定した団体への寄付金が、個人住民税の寄付金控除の対象になります。全国一律ではなく、各自治体の指定団体でないと対象となりません。
- 2 寄付金額から5千円を差し引いた額の、都道府県指定の場合は4%、市区町村指定の場合は6%が個人住民税の税額控除です。
- 3 所得税の確定申告の際に個人住民税の寄附金控除も合わせて申告できます。上限額は年間所得の30%までです。
- 4 各地方自治体で条例が異なりますので確認してください。

### 相 続 税

相続で取得した財産の一部または全部を寄付した場合、寄付した財産に相続税は課税されません。

法人によるご寄付（賛助会費を含む）は、所得控除が受けられます。当会発行の領収証、公益認定書の写しをお送りします。控除については、最寄りの税務署にお尋ねください。

## 事例紹介 戦没・殉職船員の功績等の調査

当会の事業に「戦没・殉職船員の功績等の調査および名簿の作成」があります。戦没船員については、先の大戦で戦時徴用船に乗り、尊い命を犠牲にされた状況を調査し、その功績を遺族をはじめ一般にも公開しています■当会が設立された当初、「国に殉ずる」との意味から、戦没船員も殉職船員に含めていた時期がありましたが、現在では、乗船中の海難や労働災害などで不慮の死を遂げた船員を殉職船員として分けています■神奈川県横須賀市の県立観音崎公園の高台にある「戦没船員の碑」には現在、6万3,556人（戦没船員6万609人・殉職船員2,947人）の名簿が奉安され、毎年5月中旬に戦没・殉職船員追悼式典が営まれています■こうした「功績等の調査」の依頼は、日常の問い合わせのほか、「戦時徴用船遭難の記録画展」における遺族相談コーナーやアンケートでも多く寄せられています。そうした中から、調査・回答の事例のいくつかを紹介します。



大阪市記録画展の来場者アンケートでも功績等調査の依頼がたくさん寄せられた

### ■山上隆三様（大阪市）

私は、「天長丸」（辰馬汽船）の生存者で、平成18年に貴会に調査を依頼し、同船の戦没状況等の資料をいただいで協賛会員になりました。戦争末期、同期生が通信士として乗っていた宮地汽船「聖山丸」は、空爆で沈没したとあります。その後の消息を調べてください。（手紙）

#### 【回答】

戦没船員名簿に該当する姓は27人。そのうち通信士は2人で、いずれも名が該当しません。また、「聖山丸」の戦没船員は43人で通信士は1人いますが、姓名が該当しません。したがって当該通信士は、その時点で生存の可能性がありません。調査を続けて大阪の絵画展で報告します。

### ■横山佳則様（横浜市）

兄は、水産講習船「白鷹丸」に海

軍省備人（操機手）として乗船中に小笠原諸島近海で戦死しました。

これまで靖国神社や護国神社において慰霊を行いました。兄が「戦没船員の碑」に奉安されているかどうか調べてください。（メール）

#### 【回答】

兄上は、戦没船員の碑に奉安されており、毎年5月中旬に全国の遺族をはじめ関係者約500人が参列し盛大な追悼式典が営まれています。「白鷹丸」関連資料を送付します。

#### 【返信】

小笠原海運（東京―小笠原就航）のご厚意により、兄が戦没した海域で洋上慰霊祭をすることができました。実現したのは、顕彰会のアドバースのお蔭と感謝しています

### ■森野美樹様（茨城県）

「昌元丸」船長だった父は、小笠原諸島の父島出港直後に空襲で沈没、数日間の漂流の後、救助されました。今は亡くなって、沈没の様子が聞けません。父や同乗者の手記などの情報がないでしょうか。（メール）

#### 【回答】

本船を含む5隻の船団は父島沖の空爆で全船沈没しました。「戦時輸送船団史」には、「利根川丸」船舶砲兵隊員の話が載っています。

父上の手記は、「海なお深く」「働哭の海」「戦時船員たちの墓場」「最期の輸送船」「船舶砲兵」など調べ

ましたがありませんでした。

### ■米山恵美子様（兵庫県）

大阪の記録画展を見てアンケートに「子供の頃の遭難を思い出した」と書いたら、思いもかけぬ資料や写真が送られてきて、感謝の気持ちで一杯です。父と姉と私（当時9歳）

の3人は、門司から基隆向けの客船「大和丸」に乗船中、雷撃により沈没。救助されたボートは何度も転覆しましたが、幸い海が穏やかだったお陰で助かりました。改めて戦争の恐ろしさを思い、世界平和を願わずにいられません。（手紙）

### ■杉岡康弘様（大阪市）

父は昭和20年3月29日、南シナ海で戦死と聞いています。その他のことは一切わかりませんが、調べていただけますか。（相談コーナー）

#### 【回答と経過】

戦没船員名簿にないことから軍人の可能性がありません。この日に南シナ海で沈没した船は「海興丸」1隻で、便乗者14人のほか備砲隊4人が乗船していたと記録されています。

後日、靖国神社への調査で海軍大尉と判明したが、船名は不詳でした。その後、本人が厚生労働省援護局に問い合わせた結果、「海興丸」であることを確認し溜飲を下げました。

11面に関係記事を掲載します

# 殉職船員「遺族からのお便り」

殉職船員遺族援護事業による平成23年度の援護金受給者は、9世帯・11人の皆様です。規程により、年1回の現状報告と4回の援護金受給領収書に通信欄を設け、近況を綴っていただいています。今回は、7人の方のお便りを紹介します。

■鎌野智美さん（徳島県板野郡）

いつもお世話になり、ありがとうございます。月日が経つのは早いもので、次女の佑実子は高校生になりました。しっかりと勉強して、将来のことを考えてほしいと思います。

■鎌野佑実子さん



高校に入学して半年が過ぎました。私は、弓道部に所属しています。入部して思うことは、一日一日の練習の積み重ねが大切なことを改めて感じています。

部活はもちろんのことですが、勉強も一生懸命取り組んでいきたいと思っています。そして、高校生活を日々

充実させて、悔いの残らないようにしたいと考えています。

■阿部悦子さん（石巻市）

日々ありがとうございます。避難所から仮設住宅に移って、ようやく生活にも慣れてきたようです。息子（中2）は、天気が良いと40分の自転車通学で頑張っています。中学校の新人戦で初めて一勝したといって喜んでいきます。援護金を大切に使用させていただきます。

■高橋弘子さん（石巻市）

いつもありがとうございます。石巻市周辺は、交通の便がまだ悪くて仙石線、石巻線のいずれも不通のままです。次男（高2）は、まだ仙台の避難所から学校へ通っています。長男が通う大学と祖父の入院先が神戸なので、私は仙台と神戸を行ったり来たりして、とても苦労していますが、祖父の病院が仙台で見つかりそうです。これで少し楽になるかもしれません。

■大竹初美さん（三重県度会郡）

いつもありがとうございます。2学期が始まり早1か月。子供たちは毎日、学校に頑張っています。家族3人健康で日々おだやかな生活が送れることをとてもありがたいと思っています。秋を楽しみたいです。

## 10面の関係記事

当会と靖國神社

戦没船員の碑に奉安されている6万609人の御霊は、軍属として靖國神社に合祀されています。本会は、昭和61年10月、宝物記念館「遊就館」の修復完成を機に、船員の活躍を伝える佐藤幹児画伯作「ヒ86船団帰らず」（油彩240号）を奉納しました。これに続いて翌年12月には、大久保一郎画伯遺作「ぶらじる丸の最期」と「沈みゆく船に別れを告げる船員」の複製画を奉納しています。

また、日常的な遺族や関係者からの功績等の調査依頼に対し、戦

没船員名簿に芳名の記載がない場合に靖國神社に照会するなど、調査協力をお願いしています。軍人の調査窓口

遺族などからの戦没者の問い合わせは、船員だけでなく軍人にも及びます。軍人の場合は、所属や階級によって調査窓口が次のように分かれています。

- ①海軍尉官級以上は厚生労働省援護局、②海軍兵卒は各地の護国神社、③陸軍の軍人はすべて各地方自治体――。いずれの場合にも遺族である証明が必要で、問い合わせることができません。

■中野幸枝さん（気仙沼市）

援護金ありがとうございます。震災からもうすぐ7カ月になります。次男（高1）が通う高校の仮設校舎が11月に完成し移る予定です。ようやく落ち着いて勉強できるようになり、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

■岡元美紀さん（室戸市）

いつもありがとうございます。大學生になった長女は、学校生活にも慣れてきたようです。長男も進学が決まって、今はほっとしています。卒業まであと数カ月になりましたが、悔いのない高校生活を楽しんでほしいと思います。

**知らない人いませんが  
教えてあげてください  
遺児たちを守る支援制度**

当会の殉職船員遺族援護事業は、商船等に乗船中、海難や労災で殉職した船員遺児（誕生から高校卒業まで）に援護金を支給する制度で返還の義務はありません。

支給額は1人月額8千円。入学時には小学校3万円、中学・高校はそれぞれ1万円が支給されます。

詳しくは、当会事務局にお電話ください。なお、漁船船員の場合は、漁船海難遺児育英会が援護事業を行っています。

# 各地の船員慰霊祭へ 献花捧げ 海の平和を祈願

平成23年に全国各地で営まれた殉職船員あるいは物故船員に対する左記の慰霊祭に対して、本会の前川弘幸会長名で献花が捧げられ、物故船員のご冥福を祈り、海の平和を祈願しました。(開催日順)

## ▽物故船員慰霊祭

7月8日、成田山横浜別院延命院、「海の月間」横浜地区実行委員会

## ▽殉職船員無縁塚慰霊祭

7月15日、北九州市門司区・真光寺、北九州海の日協賛会

## ▽第50回物故船員合同慰霊祭

8月20日、小樽市手宮公園物故船員慰霊碑前、小樽船員OB会

## ▽唐桑町の殉難者慰霊祭

8月30日、向ヶ森慰霊碑前広場、唐桑町海の殉難者慰霊碑保存会

## ▽以西底曳網漁船殉難者慰霊大祭

10月20日、福岡市西公園・光雲神社、福岡海寿会

## ▽第109回久田船長碑前祭

10月28日、石川県能登町・久田船長石碑前、久田船長顕彰会

北九州市門司地区では、海の日協賛会の恒例行事の一つとして、真光寺における殉職船員慰霊祭と海難守

## 恒例の慰霊祭と安全祈願祭



殉職船員無縁塚慰霊祭が営まれた真光寺

護神と崇める明石与次兵衛石塔で航行安全祈願祭が行われている。

真夏日となった7月15日、区長はじめ行政や海事団体から66人が参列し、寺は厳粛な空気に包まれた。

海員組合九州関門地方支部の濱田俊英支部長の開式に続いて、真光寺住職による読経・導師焼香の後、上田紀昭門司区長、九州運輸局福岡支

局の押井和徳次長、馬場一榮北九州市議が追悼の辞を捧げた。焼香は前記の方々のほか門司海上保安部長が

代表して行った後、参列者全員が焼香し、殉職者の冥福を祈念した。

その後、会場を明石与次兵衛石塔に移して、航行の安全を祈願した。

## 全国に598の慰霊碑

本会の事業に「戦没・殉職船員の碑の維持管理等に対する協力」があり、戦没船員の碑や全国に散在する慰霊碑も対象になっている。

昭和57年に初めて全国調査を行い、333碑を採録した「殉職船員記念碑」第1集を発行。10年後の平成4年に補完・整備して第2集を刊行した。収録されている慰霊、追悼、供養、海難などの碑、塔、像は、北海道から沖縄まで598に及ぶ。

第2集発行から8年、そうした船員記念碑の管理状態がどのようなものか今は定かではないが、紹介した六つの慰霊祭との交流は、久しく続いている。

## 久田船長碑前祭

全国の船員記念碑は、戦没・殉職者を慰霊するものが多くを占める。その中で、久田佐助船長という個人

の追悼式典が109年もの長きにわたり続けられていることに驚く。

明治36年10月29日、津軽海峡航行中の青函連絡船「東海丸」は濃霧のためロシア汽船と衝突沈没し、久田船長は船と運命を共にした

没1年後には日露戦争が開戦し以後、わが国は先の大戦が終結するまで軍国主義の道をひたすら歩み続けることになる。そうした時流と久田船長の人物像が重なって、郷土の英雄に小学唱歌が作られ、記念碑建立の機運が醸成されていった。

「久田船長碑」の揮毫は、時の首相で海軍大将、子爵斎藤実の実書である。高さ6・6メートル、幅1・2メートルの巨大な記念碑は、海石探しの末に鶴川港沖合で発見され、大勢の村民の手により引き揚げられた。建立は、没31年後の昭和9年のこと、これを機に祭名を「久田船長碑前祭」と改め、昨年109回目を迎え、厳かに執り行われた。

## 編集後記

小紙を担当して一年が経った。事業も年間行事も一巡して、今後口ごもること許されぬ立場にあると胸に刻む。一年を振り返って、いずれの事柄も初仕事であって落ち着かぬものだったが、大過なく今日があることは、事業を支える会員と業務を分かちスタッフがついてこそ成し得るものと感謝している。そうした中で記憶に残る出来事といえば、大阪市で開催した大久保一郎画伯遺作展であった。戦時徴用船遭難の記録画は、遺族や関係者の